

議会だより

第17号

平成26年7月25日発行

■ 議会構成	2
■ 6月定例議会で決まったこと	4
■ 委員会レポート	6
■ まちの課題を問う（一般質問）	8
■ 夢に向かって	20



やったー！！
プール完成！

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会

新たな議会がスタート

4月25日の初議会で役職を決定しました

議長、副議長
就任あいさつ



議長
齊藤 正行



副議長
神田 智

このたび、議員各位のご推挙をいただきまして、富士川町議会第三代議長、副議長という要職を賜りましたことは、身に余る光栄と同時に、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

本町は、平成22年3月の合併から4年が経過し、5年という節目の年を迎えております。二元代表制の一翼を担う町議会といたしましては、町民に信頼される議会を構築するため、常に町民の声に耳を傾けるとともに、さまざまな課題に対して議論を交わしていく所存であります。

町民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

● 総務常任委員会



委員長 長澤 健
副委員長 青柳 光仁
委員 秋山 貢 鮫田 洋平 小林有紀子

総務・企画・財政・税務・防災・選管などに関する事案

● 教育厚生常任委員会



委員長 井上 光三
副委員長 深澤 公雄
委員 小林 進 長澤 芳文 堀内 春美

町民生活・福祉保健・子育て支援・文化ホール・教育などに関する事案

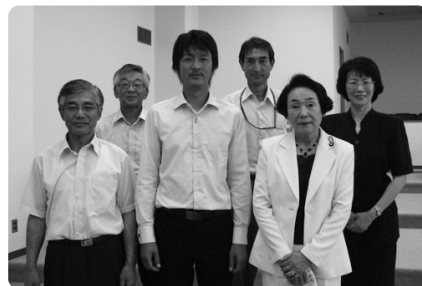
● 産業建設常任委員会



委員長 市川 淳子
副委員長 川口 正満
委員 神田 智 齊藤 欽也 秋山 勇

商工観光・農林振興・建設・上下水道・農業委員会などに関する事案

● 広報常任委員会



委員長 鮫田 洋平
副委員長 堀内 春美
委員 齊藤 欽也 川口 正満 深澤 公雄
小林有紀子

議会広報の編集、各常任委員会の調査・研究・町広報に関する事項

議会運営委員会

委員長 秋山 貢
副委員長 小林 進
委員 神田 智
市川 淳子
鮫田 洋平

井上 光三
長澤 健

富士川町監査委員

小林 進

峡南広域行政組合議会議員

小林 進 神田 智
井上 光三

三郡衛生組合議会議員

市川 淳子 秋山 貢 長澤 健
青柳 光仁

中巨摩地区広域事務組合議会議員

齊藤 欽也 鮫田 洋平

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員

秋山 勇

峡南医療センター企業団議会議員

齊藤 正行 神田 智 井上 光三
市川 淳子 小林有紀子

4つの特別委員会を設置（委員は全議員）

議会改革特別委員会

議会の機能や役割の重要性を踏まえ、より透明で住民の意見が反映される議会運営を目指し、改善、改革に関し調査研究に取り組む。

委員長 秋山 貢
副委員長 市川 淳子

増穂商業高校の存続を考える特別委員会

峡南地域4高等学校の再編整備に伴い、増穂商業高校の存続が危惧されているため、調査研究に取り組む。

委員長 井上 光三
副委員長 堀内 春美

リニア対策特別委員会

ルートにかかる住宅の移転補償対策、騒音、日照権、水資源への影響や、リニア甲府駅までのアクセス道路の整備などの調査研究に取り組む。

委員長 長澤 健
副委員長 秋山 勇

公共施設再配置調査研究特別委員会

総合的な観点から中長期的視野のもと、公共施設の再配置が適正に行われるよう調査研究に取り組む。

委員長 神田 智
副委員長 深澤 公雄

議会のおもな活動日誌

4月21日	改選議員協議会	[議会運営について]
25日	議会運営委員会、全員協議会	[臨時議会の議案説明]
	第2回臨時議会	
5月 9日	議会運営委員会	[6月定例議会日程について]
14日	議員研修会	[議会・議員の責務と権限について]
16日	新人議員研修会	[各課業務内容について]
19日	全員協議会	[特別委員会について]
22日	町村議会議員研修会	[町村議会を取り巻く課題]
23日	議員研修会、全員協議会	[6月定例議会の議案説明]
26日	議会運営委員会	[一般質問検討]
30日	新人議員研修会	[町内施設視察]
6月 6日	定例議会（16日まで）	
9日	広報常任委員会	[議会だより編集、以後8回開催]
16日	議会運営委員会、全員協議会	[定例議会追加案件説明]
26日	議会運営委員会、全員協議会	[臨時議会の議案説明]
30日	第3回臨時議会	
7月 1日	議会広報モニター委嘱式	
2日	鯉沢小中学校プール竣工式	
8日	道の駅「富士川」竣工式	
9日	議員研修会	[政治活動と選挙運動について]
	総務常任委員会	[予算について]

雪害による農業復興支援に 1億642万円

梅林第2団地などを改修 3,800万円

平成26年度一般会計予算 総額73億3,650万円

平成26年6月定例議会を6日から16日まで開催しました。
25年度および26年度補正予算、条例の制定および改正、人事案など27の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また議会では4つの特別委員会を設置しました。

26年度補正予算のおもな質疑

問 公共施設再配置の対象は全てをさすのか。

答 庁舎などの行政系施設、教育系施設、児童センターや保育所など児童系施設を対象としている。

問 富士川河川敷につくる町民交流広場設計費1,240万円とあるが、浸水すると片付けの経費がかかる、その点は考慮したのか。

答 河川敷地内であるので、増水による浸水はあると思うが、町民がこぞつて集まれる場所として必要である。400メートルトラックの陸上競技場をつくる。

問 学力向上指導員の経費は全額県補助金か。
答 その通りである。

おもな補正予算

- ・文化ホール空調設備改修工事 1,598万円
- ・鯉沢福祉センター太陽光発電設備設置工事など 5,718万円
- ・保育所窓ガラス飛散防止工事 646万円
- ・農道舗装および水路改修工事 930万円
- ・大口分水工開閉機取替工事など 1,140万円
- ・観光施設修繕 1,590万円
- ・水路改修工事など 650万円



大口分水工を視察



改修される梅林第2団地

- ・町道改良舗装工事 5,570万円
- ・町民交流広場設計業務 1,240万円
- ・梅林第2団地改修工事など 3,800万円
- ・地域防災計画策定業務 527万円
- ・増穂小学校給食室耐震化設計業務 559万円
- ・鯉沢小中学校電気・空調設備改修工事 550万円
- ・林道柳川箱原線災害復旧工事 500万円

(株)富士川決算報告

初の審議

(株)富士川損益計算書

平成25年5月23日～平成26年3月31日

売上高	101,612,245円
売上原価	56,946,837円
売上総利益	44,665,408円(イ)
販売費及び一般管理費	47,797,019円(ロ)
営業利益(イ)-(ロ)	3,131,611円①
営業外収益	
施設管理収益	6,240,000円
緊急雇用事業収益	1,470,640円
その他	352,239円
営業外収益合計	8,062,879円②
法人税など	1,363,547円③
純利益(①+②-③)	3,567,721円

(株)富士川は平成25年5月23日に町と民間企業4社が出資して設立した会社で、資本金5,000万円のうち7割(3,500万円)を町が出資している。

(株)富士川は町が出資した法人であるため、議会へ決算報告が提出されました。設立後、初めての報告に対して活発な質疑を行いました。

おもな質疑

問 家賃支払いがなくて本業部分300万円の赤字である。管理委託費など業外収益750万円であろうやく黒字となっている。管理委託の内容は。

答 「塩の華」「つくたべかん」の維持管理である。「道の駅」は入っていない。指定管理は生ぬるい部分があるが、これまで3〜4千万円の赤字を出していたことを考えると効果がある。

問 町から職員を派遣しているが、(株)富士川の自立のためにも直接採用にしているか。

くべきではないか。

答 それが理想であるが、町職員の再雇用の関係や、町との連携をとる上で人材派遣をしていく。

問 事業報告には決算状況と今後の予算があるべきである。また、3つの主要事業ごとに決算があっても良いのではないか。

答 道の駅が今からということもあり3カ月分の予算しかない。年間予算の策定は9月ごろになる。来年からは予算・決算を出すか、会社全体の事業報告で十分と考える。

条例制定・改正

町男女共同参画推進条例の制定

男女共同参画社会の実現に向けて制定する。

鯉沢福祉センター太陽光発電設備管理基金条例の制定

国の補助金で整備し、発電設備の維持管理、更新費用を賄うため制定する。

町税条例の一部改正

軽自動車および小型特殊自動車の税額アップと法人税の軽減がおもな内容である。



町民の足となるデマンドバス

町営バス設置条例の廃止

7月1日から鯉沢地区にデマンド交通を導入することに伴い、町営バスを廃止する。

人事

人事案件を承認(敬称略)

人権擁護委員

新任 保坂幸美(中部)

公平委員

新任 保坂茂明(中部)

教育委員

再任 中村高志(青柳町)

新任 望月正人(五開)

意見書提出

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再利用を促進するための法律の制定を求める意見書」を、国会および国の関係省庁に提出した。

ごみの減量のためには、事業者および消費者へのさらなる責任強化が必要との趣旨である。

委員会レポート

総務常任委員会

公共施設を解体撤去して土地譲渡を行うには

答 不動産鑑定や、地域によっては固定資産評価額を参考にした価格で譲渡している。

ゴルフ場利用税交付金の対象は

答 富士川カントリークラブの一部で、本町地籍の分である。

公共施設再配置計画策定業務の進め方は

答 公募委員を含めた検討委員会を設立し、計画策定のための支援を業者にお願する。

通学路路肩カラー化工事の予定は

答 まずほ南児童クラブ付近(最勝寺区)から、小室道橋(峡南自動車教習所付近)までの400mと、早川歯科の西にある町道富士見町新道線の南北65mを予定し



路肩カラー化される町道

ている。

コミュニティ助成事業の地域的な公平性の確保や配慮は

答 宝くじの助成事業であり、毎年度、区長会の折に各区長に周知して実施している。

地域防災計画策定業務の契約方法は

答 過去データ等の関連性から随意契約が想定されるが、選定方法は決まっていない。

教育厚生常任委員会

各保育所の窓ガラス飛散防止工事とは

答 破損防止と飛散防止のため、窓ガラスにフィルムを貼る工事である。

学校の学力向上事業指導員の内容は

答 1教室1回当たり3人の指導員で、午前または午後の1回2時間半を予定している。

社会体育施設費のフットサル用ゴールなど購入費の内容は

答 ゴール・ネット、保護マット、砂袋の購入費で、旧中部小学校体育館に設置の予定である。

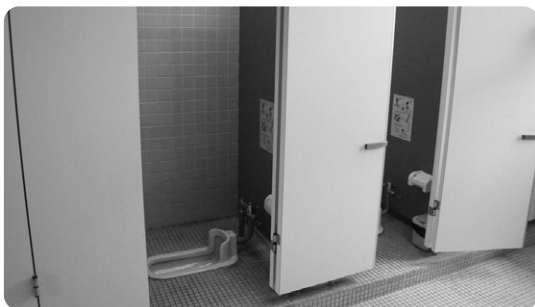
公民館費の補助金は地区公民館改修・修繕補助とあるが、対象公民館は

答 今回は、大柵区公民館修繕補助と中部区公民館改修補助である。補助できる公民館は、公民館運営規則

で地区公民館に位置付けられた15地区公民館である。

町内小中学校トイレ洋式化工事の内容と今後の予定は

答 町内各小中学校のトイレを2年計画で半数以上を洋式化したい。今回は増穂小と増穂南小の併せて9基を工事する。



洋式化される学校トイレ

簡易水道事業特別会計の鳥屋柳川簡水緩速ろ過池工事の内容は

答 ろ過池の砂が減り、機能が低下したため改修を行う。

被災農業者向け経営体支援事業の補助内容は

答 大雪の被害に対する施設の再建と修繕にかかる費用補助補助率は撤去費について、国が2分の1、県と町が4分の1ずつ、再建の修繕費については、国が10分の5、県と町



雪害を受けた農業施設

が10分の2ずつ、自己負担が10分の1。対象は、農家戸数34戸で、84施設。内訳は施設の撤去29件、再建55件である。

観光費の修繕費の内容は

答 かじかの湯の源泉ポンプおよび施設内ポンプ、まほらの湯の施設内ポンプのオーバーホールとまほらの湯の自動ドアの修繕などである。

温泉回数券についての内容は

答 本年度もまほらの湯、かじかの湯の温泉回数券、合わせて2,000枚を町が購入し、町関係者が販売促進することにより、温泉施設の集客・売り上げの向上につなげるものである。

要望 町民交流広場の設計業務に関しては、慎重に利用度、災害対策を含めたランニングコストを考えて、多くの町民が利用できるよう設計することを求める。

第3回臨時議会

プレミアム商品券に補助

6月30日、第3回臨時議会を開催し、平成26年度補正予算案1件について、原案のとおり可決しました。

補正予算の内容

- 魅力と活力ある商店街創出支援事業補助金（5周年記念商品券発行事業） 100万円
- 利根川プールサイド改修工事 358万円

おもな質疑

問 商工会発行の「プレミアム商品券」に補助金を出すことになった経過と、提案がこの時期になつた理由は。

答 6月11日に要請があり、事業開始予定が8月1日なのでこの時期となった。

問 町の5周年事業と併行なら、商工会も早く対応できたのでは。

答 国の補助事業が25年度補正のため、当初予算に間に合わなかった。

問 町をあげての5周年だ。商工会は自己資金を捻出できないか。

答 状況が厳しいため、町の支援となった。

問 この事業は町から商工会へ要請したものか。

答 商工会自らの発想。大切にしてい



改修された利根川公園プール

いきたい。

問 補助金の決定にいたるまでには十分に議論したのか。

答 商工会からの要請があつた後、政策会議を行い決定した。

広報常任委員会研修

7月10日～11日、東京で行われた町村議会広報研修会へ委員全員で参加し、広報編集の基本を研修しました。

一般質問

まちの課題を問う

問 峡南医療センターの赤字予測は



斉藤 欽也 議員

答 実情に合わせて見直した

問 医療連携基本構想では医療センター開設初年度から黒字となっていたが、なぜ赤字予測に変更されたのか。
町長 平成25年3月に策定した基本計画は黒字を見込んでいたが、今年3月策定の3年間の中期経営計画では初年度3億8千万円、次年度1億9千万円の赤字、3年目から5、400万円の黒字となっている。
 収支予測が異なった要因は基本計画では年間外来患者数を22年度実績の1.2倍病床(234床)利用率80%で見込んだ。しかし、開院にあたり中期経営計画では年間外来患者数を25年12月実績で病床利用率を富士川病院(154床)68%、市川三郷病院(50床)80%と推計しなおした。そのため違いが生じた。
問 救急患者を断らない病院ということが目標であったが、4月は救急30件のうち約10件を断っている。割合・件数とも以前と変わってないが、なぜか。

町長 同様の苦情がきている。これでは急患を断らない病院にあてはまらない。病院内の連絡体制がうまくなかったようだが、長く続くようでは問題である。
問 今後4年間の町づくりの基本的考え方は。
町長 少子高齢化の進行や地方分権の進展・経済成長が期待できない中で、行財政基盤の強化・人口増加や地域の魅力活力を維持増進する方策が必要である。
問 どのような町づくりをするのか



急患を断らない病院を

そのためには、組織体制の強化、専門的で高度な能力を持つ職員の育成が必要である。今後は、公共施設の再配置など行政のスリム化を進め、自主財源の確保と行財政基盤の強化が必要。まちづくりの羅針盤は第1次総合計画である。
問 所信表明では行財政改革に触れていないが。
町長 主要施策の第一に公共施設の再配置計画策定を掲げた。既存施設の統合や廃止、譲渡や他用途への転用を検討する。まさに行財政改革の中心である。
問 財政シミュレーションを含め、公共施設の耐震化や建替え計画を3月ごろまでに作るつもりか。
町長 29年度まで財政シミュレーションはしてある。想定では年度を分けながら入れてあるが、再配置計画のなかで総合的に検討する。ただ、リニアの問題もあるので体育館・児童館が先になると思う。庁舎などは若干遅れることが想定される。

問 防災無線の難聴対策は

答 戸別受信機の導入を進める

さめた洋平 議員



問 難聴地域の現状と対策について伺う。

町長 全町での現地調査はしていないが、アンケート結果で74%の方々から「聞こえない」「聞きづらい」との回答があった。今後、室内でも受信できる戸別受信機の導入を進めていく。

問 戸別受信機はいつまでに計画して設置する予定か。

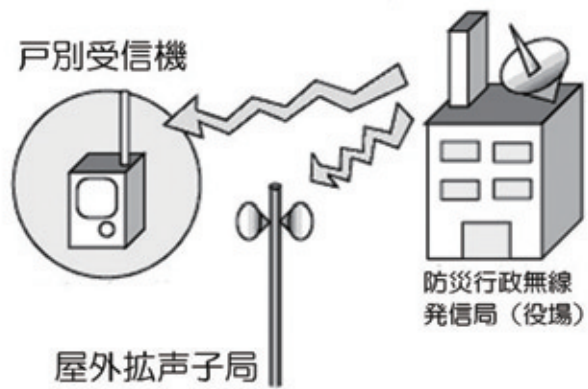
町長 できるだけ早く設置をしていきたい。

合併の検証は

問 合併のメリット、デメリットについて現状と今後の計画について伺う。

町長 子育て支援課や防災課が設置でき、きめ細かな対応ができています。地域資源を有効活用した広域的な観光振興策や、医療の充実のために峡南医療センターを設置できた。教育環境の充実や65歳以上の高齢者、障がい者の町営バスの無料化なども実施し、福祉面でのサービスがいくつかが図られてきた。

デメリットはないと思っ



難聴地域の解消が期待される戸別受信機

ているが、公共施設の整理

町長 統合について、現状では手がつけられていない状況である。

今後は、良い面はさらに伸ばし一層の充実を図る。公共施設再配置計画を策定し、順次行うことでさらに住民サービスの向上を図る。

問 他町では合併の検証を行っているが、本町での予定は。

町長 良い風土ができています。検証は考えていない。

問 今期4年間の町政運営について伺う。

町長 第1次総合計画の6つのまちづくり基本目標に沿った事業を展開し、将来を見据えた持続可能な財政運営を行って行く中で、税収の確保拡大や歳出抑制につながる施策の実施に努め、町の将来像である「暮らしと自然が輝く交流の町」を目指す。

少子化対策は

問 総合的な少子化対策を担う専門部署を設け、対策をする必要があると思うが。

町長 役場が一体となってスピード感を持って少子化問題に対する危機意識を共有する中で、役場全体の事業として取り組んでいきたい。

問 さまざまな問題が各課に山積されていると思うが、一カ所に対応したらどうか。

町長 それぞれの部署で役割を分担し、最重要課題という認識を持ち、同時進行で人口問題に対し、町の共通課題として取り組んでいきたい。

問 人口500人アップ作戦の進ちょく状況は

答 8つの提言をし 庁内の検討委員会を解散



深澤 公雄 議員

問 平成24年度に若手中堅職員による人口500人アップ作戦と銘打った検討委員会を立ち上げたが、今の進ちょく状況を伺う。

企画課長 8つの提言をまとめ同年11月、町長に提案書として提出し、検討委員会は解散した。

問 解散とは残念だ。8つの提案の中で25年度の事業に結びついたものはあるのか。

企画課長 定住促進のために、空き家対策事業、未活用町有地の公売、住む場所の確保に町有住宅の改修等の事業を実施している。

2040年 日本はこう変わる？

自治体の姿は？

(現在約1800市区町村)

➡ 896が消滅危機に
●うち523が人口1万人割れ

女性が増えるのは？

(20~39歳の女性人口)

➡ 全国で増えるのは15のみ
●秋田県は大潟村を除きすべて消滅危機

影響どこまで？

➡ 都心部にも影響
●東京都豊島区…50.9%減
足立区…44.6%減
杉並区…43.5%減

日本創成会議が推計した衝撃的な数値
(5月9日、日経新聞から)

問 500人アップに向け、26年度の取り組みは。

町長 今年度はさらなる子育て支援を充実するとともに、町有住宅の家賃の大幅な値下げ、また、昨年度から引き続き町有地の売却、山王土地区画整理事業も本格化していく。住民の皆さんには富士川町に愛着を持っていただき、子育て世代にこの地へ住んでいただければよいに、やっていかなければと考えている。

問 中部住宅の建て替え計画はあるのか。

建設課長 富士川町公営住宅長寿命化計画に基づき建て替えは行わず、分譲を行っていく考えである。

問 分譲だと子育て世代が土地を買うのは厳しいと思う。分譲ではなく建て替えて検討できないのか。

建設課長 中部住宅の形態が長屋の平屋建てということと、住居環境もトイレにしても悪い状況だ。こんな

職員による消防隊の組織づくりは

問 団員の多くは町外に勤務しているため、事あるとき間に合わない場合がある。役場職員による消防隊を組織することはできないか。

防災課長 現状では新たに役場職員の消防隊を組織することは考えていない。ただ、町内に火災が発生した場合に旧町単位で出動していたので、今後は全町単位にすることや、さらなる機能別消防団員を確保して、迅速な消火活動に当たれる方を検討したいと考えている。

問 商工会を育成支援して町の活性化を

答 関係者が認識し活力ある商店街に

川口正満 議員



問 総合計画にある「力強い産業と魅力にあふれたまちづくり」のため、商店街の活性化が長年の課題だ。町は商工会と連携して魅力ある商店街を形成し、中心市街地の賑わいを創出することを目指している。これまでどのように商工会の育成支援に知恵出し、汗流してきたか伺う。

商工観光課長 R52夏まつり、青柳宿運営補助金、町の駅設置補助金、一店逸品事業補助などを行ってきた。買い物弱者に対する快適な購買環境確保のため、デマンド交通などの公共交通の整備

朝市の開催による消費者の利便性の向上に努めてきた。今後は、東部に大型商業施設がオープンしたので、人の流れを商店街へ引き寄せようとするように商店街商工会で取り組んでいきたい。また、コミュニティビジネスモデル事業を活用し、空き店舗の有効活用をしていきたい。

問 商店街は町の顔でもある。この4年間どのように商店街を支援してきたか。

町長 個々の商店街に補助金を出せないで、商工会



町民の利用が望まれる町有施設

という連携組織に助成しながら、商店街の活性化を図ってきた。関係者が認識を新たにして、それぞれが頑張っていたきたい。もっと活力ある商店街をつくりたいだけありがたい。

町の特産品開発・物産販売は

問 総合計画の観光振興に関連して、今ある観光施設や加工所をもっと効果的に活用し、町を挙げて特産品を積極的に開発し販売するための、組合などに対する支援策を伺う。

商工観光課長 町では観光客の集客を行うため、体験型観光や特産品を含めた物産販売の促進、連携体制の構築が必要と捉えていて、山間地の活性化組合などに助成する事業にも取り組んでいる。

7月に開業する道の駅には183の農家から農産物の出荷申し込みがあり、町内は30%、南アルプス市などから60%となっている。

市民農園の推進と普及を

問 市民農園は町民が野菜を育て、園芸をともにする仲間とふれあいを楽しむ目的もあり、大いに普及したい。年間2千円だが、空き区画がある。どのように利用を促していくのか。

農林振興課長 遊休農地の解消、地産地消の推進を目的に市民農園を設けている。空き区画の雑草刈り払いなどを行い、今後募集を積極的にに行く。

問 身近な区の役割は大きい。区民農園を普及する考えはないか。

答 青柳区は区民農園を持っているが、他の区はできない。



市民農園で野菜づくりしませんか

問 山車の巡行に助成を

答 報償費として1台50万円を計上

青柳光仁 議員



問 町制5周年記念事業の計画全般について伺う。

企画課長 山車巡行やラン&ウオーク、3月8日に町の歌や町の鳥を制定する記念式典などを計画している。

問 山車巡行祭の開催日と順路が決まった経緯を伺う。

企画課長 町文化財である山車の巡行を計画。保存会の代表者会議を3回開催し、11月2日開催や巡行順路が了承された。

問 山車の修理費は予算計上されているが、運営費の助成については。

町長 報償費に1台50万円

で一括計上し予算化している。この範囲で修理や運営に対応いただきたい。

浸水に対する町の対応は

問 鬼島地区富士川護岸のかさ上げ工事について伺う。

建設課長 国交省で五開入口から塩の華付近までを、浸水防止対策区間と位置づけている。工事開始は未定だが、併せて歩道設置工事も働きかけている。

問 町内の長沢、青柳、鵜



5周年で予定されている山車の巡行

沢の排水機場の稼働担当は**防災課長** 各7人の職員で班を構成し対応している。

問 緊急時の対応マニュアルは作成されているか。

防災課長 マニュアル化されている。

問 定期的な操作研修や職員異動による対応は。

防災課長 訓練を定期的に行い、実施し稼働には支障がない。

介護保険制度改定、町の対応は

問 今国会で介護保険制度

改定案が可決される見込みである。改正後に要支援は市町村の事業となる。町内の要支援の認定者数と利用されているサービスを伺う。

福祉保健課長 現在認定者は要支援130人である。

100人の方が地域包括支援センターの介護予防支援計画に基づき、各種介護サービスを受けている。

問 制度改正に対し町の基本的な考えは。

福祉保健課長 認定者の6割の方が利用している訪問介護と、通所介護サービスが町の地域支援事業に移行される。今後ボランティアやNPOなどの活用も検討する。

問 要介護1と2に認定された方の特別養護老人ホームの利用状況は。

福祉保健課長 町内の入所は14人である。今後入所に依存しないサービスの充実を一層進めていく。

問 ブックスタート事業の導入は

答 乳幼児健診や 育児教室で伝える

小林有紀子 議員



問 未来の宝である子どもたちを、安心して産み育てられる環境づくりと、子育て支援策を伺う。

町長 子ども医療費の窓口無料化の拡大、不妊治療費や予防接種への助成、保育料の軽減などを実施した。今年度は全保育所の窓ガラスに、飛散防止のフィルムを設置を計画している。

問 心豊かな人間形成には良書に触れることが大切として、乳児と保護者に絵本を手渡し親子の心の交流、地域の方と関わるきっかけとなる、ブックスタート事業の考えはないか。

ブックスタートとは

市区町村が行う事業で、0歳児健診などの機会に「絵本」と「赤ちゃん」と絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動。赤ちゃんと保護者が、絵本を通して心ふれあう時間を持つきっかけづくりとして、イギリスではじまった事業。

子育て支援課長 現在の各種子育て支援サービスで果たしていると考えますが、乳幼児健診や育児教室で絵本を通し、親子のふれあいの大切さをさらに伝えたい。

問 絵本を通してまちづくりをした実例をもとに撮影した映画で、総務省が後援している「じんじん」の上映計画はあるか。

町長 文化ホールで上映する予定で進めている。



絵本を通して親子のふれあいを

防災行政無線の町の対応は

問 防災行政無線の情報をより多くの町民に伝える手段についての対応策を伺う。

防災課長 屋内でも聞くことができる戸別受信機の導入を検討している。

問 戸別受信機を必要とする町民が、自己負担金のない無償貸与ができないか。

町長 低価格なものを、個々の家庭で購入していただくが、まだ検討段階だが、早く事業化をしていきたいと考えている。

問 携帯電話に緊急情報を一斉送信できるエリアメールや、町公式のツイッターに対しての町民への周知徹底の方法を伺う。

防災課長 今後、より早く正確に伝える方法と対策を検討していく。

デマンドバス利用方法・周知徹底を

問 旧鯉沢町へのデマンドバスの利用方法の周知徹底に対し、早期対応策を伺う。

町民生活課長 各区、組の要請に基づき、映像を活用し説明会を6月5日から25日まで行う。壁に貼れるチラシの配布や、ホームページの掲載等を行い周知していく。

問 リニア中央新幹線工事着工はいつか

答 計画認可後一年ぐらいで用地取得

長澤 芳文 議員



問 最年長議員だが、こびつと質問したいと思う。工事中の騒音粉塵排ガス対策は、**町長** 着工前に具体的な協議をするが、児童生徒の通学路の交通安全対策も考えている。

問 リニア建設に対して町はどのように理解を求めていくのか。

町長 国土強靱化計画にも掲げられ、いずれ国家プロジェクトに位置づけられるであろうリニアであるので、町としても町民の心配事などに対し相談窓口として対応していく。

町制施行5周年で海外に友好都市を

問 本町には友好都市がない。海外に友好都市をつくる計画は町にあるか。例えばアメリカ・オハイオ州に、本町と同規模のシドニー市がある。そこへ小室のゆずを植え、ゆずをきっかけとして互いに交流したらどうか。

町民生活課長 国際交流は、有意義だと考える。今後どこの都市とどのような分野で友好関係が築けるか考えていきたい。

若者を海外へ

問 町の奨学金制度はどうなっているか。

教育総務課長 経済的に就学困難な場合に貸し付ける。貸付額は月に2万円が無利子である。

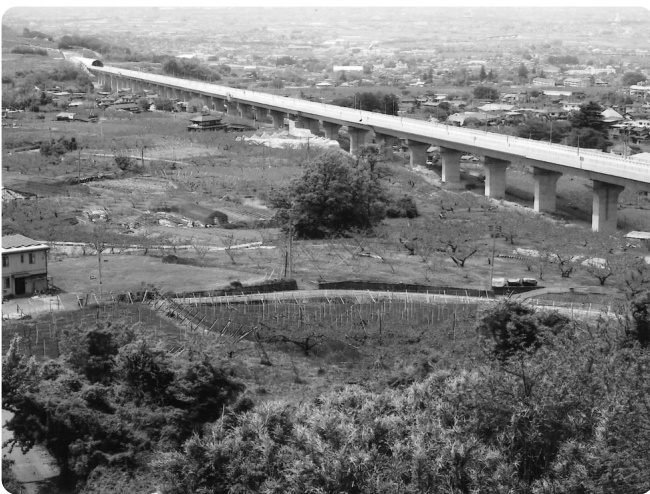
問 わが町の若者を海外留学させるよう取り組むべきだと思つが。

町長 その重要性は十分認

識している。海外へ視点を向けることは重要だが、現時点では若者に海外留学を実現させる取り組みは考えていない。中長期的視点に立つて検討したい。

問 下村文部科学大臣にお会いした時、大臣の名刺に「飛び立て！留学JAPAN」とあった。町長からハーバード大学の話が出たが、日本の医学はアメリカ、イギリスなどに並ぶトップクラス。わが町出身の学生たちが留

学し、峡南医療センターに戻ってくれば、我が国でなし得ない先進医療ができる。ただ1つの施設を持つ町になり、日本の医療メッカとして知名度が上がるのではないかと**町長** 本心に夢のある話だと思う。国際感覚を持った子どもたちを育成していくことの重要性は十分認識している。交流の分野はいろいろとある。中長期的な視野に立つて検討したい。



笛吹市四ツ沢大橋からリニア実験線を望む

学校給食室の調理方式改善計画は

問

井上光三 議員



答

関係者の意見を聞き検討する

問 町の小中学校の学校給食が、食育推進にどのような関わっているか。

教育総務課長 食育推進計画で、学校における教育活動のひとつに食育を位置づけ、子どもの健全な生活の実現と豊かな人間形成を図ることとしている。

学校給食の関わりとして、食文化に対する理解、地域の特産品・農産品の利用、郷土食・行事食の実施、正しい食習慣や食事マナーの指導、食事の重要性、感謝する気持ちの醸成など、食育の推進を図っている。

問 町内学校給食の調理方

式の現状と、メリット・デメリットは。

教育総務課長 町内の学校給食の調理方式は、自校方式、親子方式、給食センター方式がある。

メリットは自校方式では調理から食事までの時間・距離が短く、出来たての給食を提供できるほか、学校独自の献立を計画できる。親子方式やセンター方式は効率が良く、衛生管理が行

いやしく、経費軽減を図ることができ。

デメリットは、自校方式では多くの職員が必要となり、学校ごとの衛生管理が必要となる。親子方式、センター方式では、給食の運搬が必要となり、食事までの時間を考慮する必要がある。

問 今後、老朽化した給食室の改善や調理方式を検討する場合、何を重点に考えていくか。



耐震化予定の増穂小学校給食室

教育総務課長 学校給食室の改善にあたって、施設のドライシステム化が必須である。今後、全般にわたり、どのような調理方式による施設整備を行うか、関係者の意見を聞く中で、十分検討していく必要がある。

総合計画の評価は

問 第1次総合計画の前半が終了した。平成25年度は中間値として目標数値が設定されている。どのように評価していくか。

企画課長 総合計画は毎年度、各課のヒアリングを行い、進ちよく管理を行っている。平成25年度は総合計画期間内における目標数値の中間値が示されており、各課の達成度について評価を行い、達成、ほぼ達成が全体の85・1%、進ちよく中が10・6%、遅れているが4・3%であった。目標項目の8割以上において目標数値に達している。

問 モデルルームの整備で 入居率改善を

答 設備内容を調査し検討する



秋山 貢 議員

問 町有住宅は電話や現地見学の間い合わせが多いが入居につながらないと聞いている。何が原因と考えているのか。

建設課長 見学者の意見や近隣の町の状況を参考に分析した結果、間取りが古く家賃や駐車場使用料が高いことが原因と考えた。平成25年度には和室をフローリング化し、廊下などもフローリングに張り替えた。

平成26年4月には、家賃と駐車場使用料の改正を行った。現在、鵜沢団地80戸中40戸、青柳町団地79戸中39

戸に入居しているが、まだ半分が空いている。このためほかの原因も考えられるので、今後入居者に対し設備内容などに関する調査を実施したい。

問 鵜沢と青柳町の2団地に4年間で3、194万円をかけ、改修したり整備してきた。しかし、入居率はあまり変わらない。

今年改修工事をするのであれば、1室でいいからリニユール・モデルルームをつくり公開してはどうか。



改修予定の町有住宅

建設課長 今年度調査し、リニユール・モデルルームについては今後検討する。

峡南医療センターの 収支予測の説明を

問 町が町民に説明した二病院統合の経営収支予測と、峡南北部二病院統合事務組合の作成した中期経営計画では、年間の入院患者数と外来患者数の推計値に大きな隔たりがある。なぜ違うのか、町民に対して説明責任を果たすべきではないのか。

町長 町民にはシミュレーションをもとに説明した。数値は予測どおりにはいかないため、その都度町民に説明できない。それよりこれからは数カ月ごとに状況が出てくるので、その数値を町民と共有する中で、峡南医療センターを守っていく機運を醸成させることが大切だと考えている。

問 事実をありのままの姿で町民に知っていただくことが、非常に大事なことだと思ふ。

市川三郷病院の医師体制は弱体化し、そのために診療報酬が減少しているのではないかと。町は県や山梨大学医学部に、基本計画に沿った常勤医の配置をお願いすべきではないのか。

町長 医師の確保については、県というより派遣元の山梨大学医学部と連携しながらやっていかなければならない。ここを拠点に活動してくれる先生が配属されるように要請していきたい。

問

この道路に9千万円？
本当に必要か

答

必要性のある道路だと
考えている

堀内春美
議員



問 役場前のソーラーパネルが設置してある隣に計画の町道天神中条20号線は、Jマートの裏側までの110mの行き止まりの道路である。3月議会で可決し、これから総工費9千万円で整備することだが、どのくらいの利用を見込んで整備することになったのか。
建設課長 補助対象事業ということで全体を算出したのが9千万円。交通量の調査はしていない。

問 付近には、すでに南北3通りの道路がある。この道路は総合計画に入っているのか。

町長 地域住民の生活道路や、小学校の通学道路として、地元区からの要望で整備する道路である。

問 昭和通りは青柳1丁目から4丁目の生徒124人が通っている。わずかに100mのところにはハメーター道路があり、そこに信号があるからこの道路に信号は絶対につかない。

下校時に学校から来ると家のブロック塀があり、北から来る車は子どもたちが



町道天神中条20号線の整備予定地

見えない。児童の安全確保をどうするのか。

町長 用地買収してある道路の幅は6・5メートルより広く、歩道を付けて配慮できると考えている。

問 何をするにもメリット・デメリットはつきものだが、未来の富士川町を担っていく子どもたちに、災難が降りかかるようなことは避けたい。

町長の方針に子どもたちが安心・安全に暮らせるま

ちづくりとある。そのへんのことを踏まえて考えていただきたい。

町長 地域からの要望で、議会へ提案させていただいている。

**昌福寺横通り線の
拡幅は**

問 この道は歩行者が多く道路が狭い。車が1台通ると歩行者は昌福寺の塀へばりつくしかない。青柳3丁目・4丁目の小学生の通学路にもなっている。町の総合計画にも入っているのに実現しないのはなぜか。

建設課長 この路線区間は移転を伴う住宅などが多く、移転補償に多額の費用と事業期間を要するため未整備の状況である。

問 3年前に違う議員が同じ質問をしている。地元の人たちが非常に困っている現状だ。地元への説明会をして欲しい。

町長 地域の皆さんと話をしていかなければならないと思っている。

問 学習支援事業の目的は

答 基礎学力の定着と学習意欲の向上



学習支援事業が予定されている町民会館(上)と教育文化会館(下)



市川 淳子 議員

問 山梨県で提唱している学力支援事業はどういう内容なのか。

教育長 県の学力向上フォローアップ事業で、放課後や土曜日を活用し、児童生徒の補習的な学習支援を通し、学ぶ楽しさや分かる喜びを実感することで、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図ることを目的としている。また、退職教員や教職志望の学生などに指導をお願いし、

国語・算数・数学を基本的に補習学習を行うものである。
問 富士川町でまず初めに手を挙げたのは、どのような経過があったのか。

教育長 教育委員会では、かねてより町単独の学習補習支援事業について検討を重ねてきた。児童生徒の基礎学力の定着と学習意欲の向上を図るため、今回実施の決定をした。

問 どのような計画で学習支援事業を実施するのか。

教育長 町内の小学3年生以上と中学生を対象とし、夏季休業期間から来年2月までの間に、町民会館や教育文化会館を会場に、各30回程度の学習支援を予定している。

指導員には、町内の退職教員や教職志望学生などを選定し、きめ細やかな指導による基礎学力の定着を図る計画である。なお、退職教員を中心とした運営委員会とともに、具体的な実施方法を検討し、スムーズな運営と効果的な学習支援を

実施していきたい。
問 この事業の周知はどのようにするのか。

教育長 町内の小・中学校すべての家庭に通知が行き渡るような方法をとる。

問 運営委員会には保護者の考えや意見も必要だと考えるが。

教育長 委員のメンバーは退職教員、教員を志す大学生のみならず、PTAの皆さんからも幅広く運営について意見が聞けるような状況を作っていきたい。

問 子どもたちの学ぶ権利そして知的好奇心の育成にこの事業は非常に重要だと思いが。

教育長 この町の子どもの教育力を少しでも高めていきたい。町の事業として数年で定着していけば、地域の公民館でごく自然に地域の活動として、子どもたちの学習支援ができるような状況が、一番望ましいのではと思っている。

休日議会を開催

6月8日(日)に休日議会を開催しました。当日は、11人の議員が一般質問を行い、約70の方が傍聴に訪れました。傍聴者に行ったアンケートを参考に、今後の議会運営に活かしていきます。

傍聴者アンケート集計結果 (アンケート回答者人数23人)

性別

男性 12人 女性 11人

議会を傍聴したことがありますか

今回が初めて 11人
以前にも傍聴したことがある 12人

休日議会の試みをどう思いますか

良い試みである 16人

理由

- ・普通は平日なので、先進的な取り組みである。
- ・平日だと仕事の都合で傍聴できない。
- ・主催者である住民が傍聴できる議会とても重要である。

開催しなくても良い 12人

理由

- ・職員の手当がかさむのでは。

年齢

30歳代 1人 60歳代 8人
40歳代 3人 70歳代 5人
50歳代 4人 80歳代 2人

今後も休日議会の開催を希望するか

する 15人

理由

- ・仕事を持つ若い世代に関心を持ってもらう良い機会だ。
- ・多くの方に傍聴を望みたい、関心を持って欲しい。
- ・住民が町政を理解し自主的に参加することが町の源。

しない 5人
どちらでもよい 3人

理由

- ・いつも家にいるから。

休日議会の意見、感想

- ・町内の状況がよく分かる。
- ・初めての議員であってもよく調査した内容、現時点での取り組みが的を射ているのが分かった。

議会だよりに皆様の声を！

— 議会広報モニター8人を委嘱 —



井上 孝さん
(鯉沢中)



秋山 眞澄さん
(最勝寺)



石原百合子さん
(鯉沢中)



深澤 秀知さん
(鯉沢北)



仙洞田 薫さん
(青柳町)



丹澤 陽貴さん
(青柳町)



神田 高仁さん
(平林)



高橋 祐樹さん
(巻米)

議会広報常任委員会では、7月1日、議会広報モニターの委嘱式を行いました。委嘱期間は議会だより20号(平成27年3月定例会)までとなります。今後8人のモニターには、議会だよりが読みやすく、分かりやすい紙面になるよう、ご意見などをいただきます。

夢に向かって...

～こびとがんばるじゃん～

富士川町サッカースポーツ少年団

富士川町サッカースポーツ少年団の日本サッカー協会加盟登録名は増穂サッカークラブ(SC)です。

4月の新入団員(ジュニア 小学生 54人・ジュニアユース 中学生 18人)歓迎会と親子サッカーから本年度の年間行事が始まりました。5月にはジュニアチームが地区予選を勝ち抜き、県大会では惜しくも敗れ、北関東・関東・全国大会の出場機会を逃しました。

ジュニアユースは5月から県3種リーグ戦が始まり、9月に行われる中学3年生最後の公式戦、

たかまどのみや
高円宮杯に向けがんばっています。

深井正樹(V・ファーレン長崎)・保坂のどか(ジェフ千葉レディース)・長谷川悠(大宮アルディージャ)・柏好文(サンフレッチェ広島)と過去に在籍していた先輩たちを大きな目標に夢とボールを日々追いかけています。

夏はジュニア・ジュニアユースともに招待試合など、目白押しとなるので、選手・スタッフ・保護者会ともにオーバーワークとならないよう気をつけていきたいと思ひます。

チーム代表 岩井美喜夫



大きな夢に向かってがんばる団員たち

団員の声

将来の夢は日本代表の10番でキャプテンになって、ワールドカップで優勝して、一人しか選ばれない世界最優秀選手になりたいです。今の夢は関東トレセンに選ばれることです。これからも努力に努力を重ねて頑張りたいです。

ジュニアチーム
キャプテン
青木 大和

「高円宮杯でまずは一勝する」を目標に日々練習に取り組んでいます。目標達成に向け仲間と協力しながら努力を続けるとともに、僕たちがサッカーを学べる環境に感謝の気持ちを忘れず、充実した生活を送っていききたいです。

ジュニアユース
副キャプテン
加賀美 嶺

議会クイズ

- 問題1. 6月定例会で特別委員会を つ設置しました。
問題2. 月 日に休日議会を開催しました。
問題3. 第3回臨時議会で可決されたのは 商品券の補助金です。

《 景 品 》 抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
《 応募要領 》 必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《 宛 て 先 》 〒400-0592 富士川町天神中條1134
富士川町議会事務局 行

《 締め切り 》 平成26年8月末日(当日消印有効)
《 当選者の発表 》 商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え

- (1) 予算総額は68億3103万円 (2) 道の駅富士川は7月オープン
(3) 富士川病院の一般病床数154床



編集後記

改選後、初の議会だよりの発行となりました。前委員が築いてきた良いところをしっかりと引き継ぎ、さらに読みやすく、親しまれる広報誌になるよう、委員で知恵を出しあい協力して頑張ります。今号からは議会だよりを一新し、表紙や色合いを変えるほか、最終ページは「夢に向かって」と題して町内で活躍する団体を紹介していきます。暑い日が続きますが、体調管理をしっかりと行い、この夏を乗り切りましょう。(さめた洋平)

広報 常任委員会

委員長 飯田 洋平 副委員長 堀内 春美
委員 斉藤 欽也・川口 正満
深澤 公雄・小林由紀子